

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	秋山郷の暮らしと将来を学ぶ事業
事業主体 (連絡先)	信越秋山郷会 栄村役場商工観光課観光係 0269-87-2702
事業区分	1 地域協働に関する事業・教育文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	311,409 円 (うち支援金: 249,000 円)

事業内容

貴重な民俗資料を過疎化高齢化の中で文化資源などをどう引き継いでいくのか。資金もマンパワーも少ないこの地域では、多種多様な意見などを求め議論し常民が主体となって取り組まなくては将来に希望をもてない。前段で地域の魅力を学ぶシンポジウムを開催する。

常民塾では、各会にテーマを設け、秋山郷の歴史や暮らしなどを見る・聴く(聞く)・採る(撮る)・つくる・食るといった学びを通して生き抜くことを見つけ体験を通じ常民[村人]と関係人口を増やしの新しい山村の

価値を見出す。 5月 秋山郷新歩時生開催

8月・2月に秋山郷常民塾(夏編)と(冬編)を開催

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

秋山郷について、外からの意見や見方など多種多様な考えや意見が徴収でき今後秋山郷を考える検討材料が一つ得られた。

常民塾においては、狙いを全て取り入れた内容で開催ごとにテーマを決めて行っており、マイナーな事業で心配ではあったが、参加者からは好評であった。特に秋山郷の歴史・文化を学べること。秋山郷の食に大変興味を示していただいた。長野県、新潟県の県境で秋山郷地域をまとめていく新しい挑戦に常民は意識し始めている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

常民塾については、豊富な地元メニューを組み合わせ、地域住民の参加と関係する人口を増やせるように事業を継続したい。他県から参加する塾生は、山村の暮らしに驚きをもって接している。歴史文化、自然、暮らし等掘り下げる面白さを常民塾として新潟県津南町と長野県栄村で、協同で学ぶ機会にし山村の継続に繋げたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【雪上をマタギと歩く体験】

【目標・ねらい】

- ① 秋山郷の将来を考える
- ② 秋山郷の歴史・文化などを学ぶ
- ③ 秋山郷の遺産を巡検する。
- ④ 常民と関係人口の振興を図る。

※自己評価【 B 】

【理由】

予定していた効果は、得られたと考えているが早期に宣伝すれば、参加者が増えたのではないかと反省している。